AR-1 用カードを作成するには（１）

AR-3000 で作成したカードを AR-1 で使用するには、必ずカードコンバート（取扱説明書 p.78)を行ってください。
AR-1では 、AR-3000 の機能で一部使用できないものがあります。
以下の注意事項を確認後、ご使用ください。

■注意事項

1. 録音

AR-1 で使える RDAC-MODE/GRADE で録音してください。

音声	RDAC-MODE	LINEAR, MODE2, MODE1
	RDAC-GRADE	STANDARD, LONG2, ANNOUNCE
MIDI		使用できません

※AR-1 では、MIDI 再生はできません。
※カードフォーマット時は、フレーズ数を５００以下に設定してください。

2. フレーズ情報

AR-1 で使えるフレーズ情報のみ使用してください。

○：使用可能、△：注意が必要、×：使用不可

再生音量	○	
遅延時間	△	フレームは秒に変換
再生ポイント	×	設定しないでください
リピート再生	△	リピート回数のみ無効
ループ再生	×	無効
フェード	×	無効
コントロールアウト	×	無効
フレーズ名	△	11文字まで有効(RS-422A使用時)

3. フレーズ・コンビネーション

○：使用可能、△：注意が必要、×：使用不可

パターン・フレーズ	ジュンジ	○	
	ランダム１	○	
	ランダム２	△	ランダム（ランダム１）に変換
	ランダム３	△	ランダム（ランダム１）に変換
	割り込みフレーズ間隔	×	無効
	音量	×	無効
	間隔	○	
ソング・フレーズ		×	設定しないでください

4. MIDI 設定

MIDI 設定はすべて無効になります。

5. RS-232C 設定

通信速度の設定は、RS-422Aの通信速度として使用できます。

6. AR-LINK 設定

AR-LINK 設定はすべて無効になります。

AR-1 用カードを作成するには（２）

7. 制御入力

○：使用可能、△：注意が必要、×：使用不可

■ダイレクト再生	●制御入力モード		
	ダイレクト	○	
	カウント	×	無効
	バイナリ	○	
	制御端子録音	×	無効
	●ダイレクト再生方式（７フレーズまで有効）		
	通常	○	
	先優先	△	「通常」に変換
	後優先	○	
	ジュンジ	○	
■カウント再生		×	無効
■バイナリ再生（６３フレーズまで有効）			
レベル(OFF)/エッジ(OFF)		△	レベル(ON)/エッジ(OFF)に変換
レベル(ON)/エッジ(OFF)		○	
レベル(OFF)/エッジ(ON)		○	
レベル(ON)/エッジ(ON)		△	レベル(ON)/エッジ(OFF)に変換

8. システム設定

○：使用可能、△：注意が必要、×：使用不可

■デュアル・モノ・モード				
オフ			○	
オン			○	
■ライン・スルー （フェード情報は無効）				
オフ			○	
オン （0%）			○	「ミュート」に変換
オン （1～100%）			△	「ミックス」に変換
■ＥＱ			×	無効
■ボリューム・スルー			×	無効
■ビジー出力				
遅延時間	フレーズ	リピート		
ON	ON	ON	○	「オール・オン」に変換
ON	ON	OFF	○	「チエン・オン」に変換
ON	OFF	ON	△	「オール・オン」に変換
ON	OFF	OFF	△	「チエン・オン」に変換
OFF	ON	ON	○	「リピート・オン」に変換
OFF	ON	OFF	○	「オール・オフ」に変換
OFF	OFF	ON	△	「リピート・オン」に変換
OFF	OFF	OFF	△	「オール・オフ」に変換
■ディスプレイ消燈			×	無効